



下妻 久男さん [栃木県宇都宮地区保護司会]

memo

保護司歴12年 元高校教師  
会長として、保護司会をまとめている。

## 保護司になったきっかけは？

元々工業高校で教師をしていたのですが、当時の先輩から、保護司をやってみないかと誘われました。断れなかったんですね(笑)

打診を受けた時、私は61歳で、教師を定年退職し、大学で常勤として働いていた時でした。**仕事と保護司活動が両立できるか不安でしたが**、職場にも理解をいただき、保護司として活動をするようになりました。

## ご家族からの反対はなかったですか？

妻には、とても心配されました。犯罪や非行をした人が家に入ったりして何かあったら…と思ったのでしょうね。ですが、話を聞くうちに妻も理解してくれ、背中を押してくれました。今は、自宅で面接している際にお茶を出してくれるなど、支えてくれています。

### 下妻さんの奥様の声

family's voice

主人から、「保護司になろうかと思っている」と言われた時は、どうしてわざわざ主人が？と反対しました。やっぱり、犯罪や非行をした人と関わることに不安があったんですね。

でも、これまで主人と二人三脚で歩んできた人生で、主人が決めたことに間違いはなかったんです。だから、主人が決めたことを信じて、応援しようと思いました。

## 保護司会長としての活動を教えてください

宇都宮地区保護司会は、保護司の数が定員を下回っているため、**会員の皆さんと力を合わせ、会長として保護司のなり手確保に積極的に取り組んでいます。**

シルバー大学校で更生保護の講座を開いたり、関係機関・団体の方から保護司適任者の情報を提供してもらう「保護司候補者検討協議会」を開催したりしています。

## 保護司活動の魅力は？

保護観察を受けている人に1日でも早く立ち直ってもらい、それが私たちの使命です。**彼らの人生の転機に関われることが、保護司のやりがいだと思います。**

## 第二の人生で

仕事を退職すると、なかなか家から出にくくなりますが、やることは良いですよ。私は保護司会の仲間と一緒に、合唱団なんかもしています(笑) 保護司活動をしていると、**70歳を過ぎても、地域の役に立てることがあるんだなあ**と実感しますね。



職種・性別・年代を問わず、様々な立場で  
保護司として活躍している方がいらっしゃいます。



保護司歴5年目

農家

### 金田 実さん

[青森県弘前地区保護司会]

PTA会長をしていた時に、知人から保護司をやってみないかと誘われ、保護司になりました。りんごは世話をするほど良いりんごになります。保護司の仕事も、人のお世話をすることで、立ち直りのお手伝いができる。保護司活動とりんごを育てる仕事は、似ているように思います。まだまだ未熟ですが、誰かのお役に立てるように頑張りたいと思います。



保護司歴15年目

主婦

### 吉田 沢恵さん

[愛知県名古屋市西地区保護司会]

最初は、保護司という存在も知らなかったんです。活動の中で多くのことを学び、私自身も成長しながら現在に至っています。

上から目線ではなく、「おばちゃんが相談にのるから何でも話してね。困ったら一人で解決しようとしなくて連絡してね。」と彼らに寄り添うことを心がけています。



保護司歴5年目

会社員

### 藤本 賀彦さん

[東京都江戸川区保護司会]

私は非行少年でした。多くの方から学びや機会をいただき、やり直すことができました。このご恩に報いたいと思い、保護司になりました。保護司活動の魅力は、担当した方と一緒に考え・悩みともに成長し、様々な活動を通じ地域との関わりが実感できることです。思いやりの心で、立ち直り支援、より良い街づくりに尽力して参ります。



保護司歴7年目

宮司

### 持田 照久さん

[奈良県かつらぎ香芝地区保護司会]

30代の時、地域の方から保護司にならないかと声をかけていただきました。神職(宮司)の立場として、地域の安寧のために活動することに使命感を抱き、保護司になりました。

神職として神明に奉仕すると共に、更生保護活動への理解を広め、地域の皆さんと共に、明るい地域社会を築いていけるように取り組んで参ります。